

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

にじいろ保育園久里浜ポピー

横須賀市久里浜 4-12-2 リヴィエール久里浜 2階・3階

運営主体：ライクアカデミー株式会社

● 実施概要	1 ページ
● 総合評価（評価結果についての講評）	2～4 ページ
● 評価領域ごとの特記事項	5～6 ページ
● 分類・項目別評価結果	7～18 ページ
● 利用者家族アンケート分析・集計結果	19～26 ページ
● 利用者本人調査分析	27～28 ページ
● 事業者コメント	29 ページ

公表日：2017年11月30日

実施機関：特定非営利活動法人市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	にじいろ保育園久里浜ポピー（保育所）		
報告書提出日	2017年10月23日	評価に要した期間	6ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

■評価方法

1、自己評価 実施期間 2017年5月8日～2017年7月20日	①職員会議で説明を行い全職員が自己評価表を記入した。 ②グループを2つに分け会議で意見交換し、グループごとに一つにまとめた。 ③各グループで出されたものを園長が一つにまとめた。次に、全員で確認、合意し、最終的な保育園の自己評価とした。
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2017年6月14日～6月28日	① 全園児の保護者（53世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
3、訪問実地調査 実施日：第1日 2017年8月17日 第2日 2017年8月18日	[第1日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：書類調査。園長、主任、運営法人スーパーバイザーに面接調査。 [第2日] ① 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：各クラス担任保育士6名、栄養士1名、非常勤1名個別に面接調査。 その後、園長、主任、運営法人スーパーバイザーに面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。
4、利用者本人調査 実施日：第1日 2017年8月17日 第2日 2017年8月18日	① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、園外での活動も観察した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

にじいろ保育園久里浜ポピーは京浜急行線京急久里浜駅から徒歩3分、川沿いのマンションの2階、3階にあります。近隣には、商店街や自然豊かな公園があり、子どもたちの散歩コースとなっています。

にじいろ保育園久里浜ポピーは平成17年（2005年）4月にライクアカデミー株式会社によって開設されました。運営法人は、保育園・学童クラブ・児童館の運営、病院・事業所・大学内の保育委託サービス、保育施設運営のコンサルティングサービス等を、首都圏を中心に幅広く展開しています。

園舎は明るく開放的で、保育室の窓からは、子どもたちが大好きな電車やバス、船を見ることが出来ます。園庭はありませんが、テラスで野菜を育てたり、夏場にはプール遊びを楽しむなどしています。

定員は、60人（0歳児～5歳児）、開園時間は、平日（月～金）は7時～20時、土曜日は7時～18時です。

保育理念は「のびやかに育て だいちの芽」、保育方針は「みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛（信頼・安定・共感）」、保育目標は、「自然を愛し、心身ともに健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」「自己を表現できる子ども」です。

◆ 高く評価できる点

1、子どもたちはのびのびと自分を表現し、園生活を楽しんでいます

保育士は子ども一人一人の気持ちを大切に保育にあたっています。保育士は、子どもの甘えを優しく受け止め、子どもが出来たことや小さな発見を共に喜び、子どもの小さな思いつきを誉めて応援し子どもが自分で考えを広げられるように支援しています。このような保育士の働きかけのもと、子どもたちは自分の気持ちを素直に表現し、のびのびと遊んでいます。一斉活動にも、リズム遊びや歌、リトミック、楽器演奏、造形活動など、子どもが自分の思いを表現できるような活動を多く取り入れています。観察時にも、幼児の朝の会、夕の会で、子どもたちがたくさんの歌を歌詞も見ずに、大きな声で楽しそうに歌っている様子を見ることが出来ました。また、幼児は、自分の思いを言葉で発表する時間を設けています。

園庭はありませんが、天気の良い日には積極的に散歩や園外活動の時間を作っています。近隣の公園では、子どもたちは、リレーや縄跳び、ボール遊び、鉄棒などで身体を動かすとともに、季節の花を見たり虫を捕ったりして自然に触れています。また、商店街で近隣住民と挨拶や会話を交わし人との触れ合いを感じ、精米の様子を見学したり、買い物をしたりし社会性を養っています。幼児は、バスや電車にのって出かける経験もしています。

異年齢の交流も盛んで、3・4・5才児は縦割りで活動する時間が多く、年下の子どもが年上の子どもを目標として色々なことに挑戦し、年上の子どもが年下の子どもの世話を何気なく行う姿があちこちで見られます。幼児と乳児は階が分かれています。行事や誕生会などは全園児合同で行うほか、散歩や、リトミックを一緒に行うなどし、交流しています。

このように、子どもたちは様々な経験をし、園生活をのびのびと楽しんでいます。

2、保育士は子どもへの思いを共有し、連携して保育にあたっています

保育理念、保育方針、保育目標を玄関や保育室に掲示するとともに、運営法人による入社時の研修や定期的に開催されているレベルアップ研修で全職員が理解できるようにしています。園長、主任は保育の様

子を見て回り、気が付いた時には、職員会議やミーティングなどで取り上げ、基本方針と結び付けて職員に伝えています。また、「にじいろの保育」という園の自己評価を用い、定期的に全職員で読み合わせをして全員で振り返りをし、保育の内容が理念や方針に沿っているか確認しています。

チャレンジ共有シート（自己評価表）という用紙があり、非常勤職員を含む全職員が毎年作成し、園長面接を行っています。職員は、チャレンジ共有シートを用いて、目標設定と自己評価、自己確認を行い、自己の保育を振り返っています。

研修も盛んで、毎年研修テーマを決めた園内研修を行っています。外部研修としては、横須賀市や白峰学園保育センター主催の研修があり、職員は資質向上のために参加したい研修を選択し自主的に受講しています。運営法人が主催する研修にも参加しています。研修の成果は報告書にまとめて閲覧するとともに、職員会議でも報告しています。職員は、研修で得た新しい知識だけでなく、保育士が得意とすることやこれまでの経歴で得たものを学び合い、積極的に保育に取り入れています。園長は、保育士の自主性を重んじ、やりたい保育を実践できるよう後押ししています。

このような取り組みを通して、保育士は方向性を共有し、のびのびと保育にあたっています。

3、子どもが自分からやりたいと思う環境整備を工夫し、子どもの主体性を引き出しています

保育士は、乳児、幼児ミーティングやカリキュラムミーティングでどのようにしたら子どもたちのやりたい気持ちを大切に進めていけるのかについて常に話し合いを重ね、「やらせる」のではなく、子どもたちが「やってみたくなる」環境作りをしています。

保育室には、ままごとや絵本のコーナーが配置されていて、子どもが自由に取り出して遊べるようになっています。保育士は子どもの遊ぶ様子を見て話し合い、おもちゃを入れ替えたり設定を変えたりと絶えず見直しています。今回の第三者評価受審に際して廃材遊びの環境構成を見直し工夫した結果、観察時には、子どもたちが廃材を自由に使ってかき氷やパフェ等を作り、ままごと遊びと合体してレストランごっこをするなど、自由な発想でのびのびと遊びを広げている姿を見ることが出来ました。

また、子どもが落ち着かない様子が見られた時には、どのようにすれば子どもが自分で気づけるかについて話し合い、注意しない環境作りを工夫しています。子どもの動線を見直したり、絵カードや時計を用いたり、窓際に落ち着けるように椅子を並べたり、声掛けのタイミングを工夫したりと、様々な環境設定の工夫をすることで、子どもが主体的に活動できるように工夫しています。幼児では、子ども同士の関係性を見守って把握し保育士間で共有し、けんかななどの場面では子ども同士で解決することを大切にしつつも、子どもの気持ちが一方的に傷つくことがないように支援しています。

このように、園では人的、物的環境の整備に力を入れることで、子どもの主体性を引き出しています。

◆ さらなる工夫が期待される点

1、保護者とのコミュニケーションを深めるためのさらなる工夫が期待されます

園は、年2回のクラス懇談会、年2回の個人面談を実施し、園の活動内容について伝え保護者の意見を聞いています。日々の子どもの様子は、連絡帳や朝夕の送迎時で保護者と情報交換しています。

ただし、今回の保護者アンケートでは、全体としては保護者アンケートの満足度が非常に高い中、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」と「保護者からの相談事への対応」では「どちらかといえば不満」の回答の割合が高くなっています。観察時にも、保護者との会話が不足しているのではと思われる場面が見受けられましたので、保護者とのコミュニケーションを深めるためのさらなる工夫が期待されます。

◆さらなる取組が期待される点

1、地域に向けた育児支援の取り組みをさらに深めていくことが期待されます

園は、町内会に所属し、地域との良い関係を作っています。地域の子育て支援事業としては、保育開放と夕涼み会や運動会、人形劇鑑賞等の行事への招待を実施しています。保育開放では保護者の育児相談にも応じています。

園では、地域の子育て支援ニーズに基づく育児支援が不足していると考えていて、今年度は保育開放に加え「母親交流会」やお話会の開催を予定しています。今後は、参加者へのアンケート等を実施するなど積極的に子育て支援ニーズを把握し、育児相談を始めとした育児支援を定期的に行うなど、保育園に求められる地域支援の役割を果たしていくことが期待されます。

評価領域ごとの特記事項

※このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

1、人権の尊重

- ・保育理念の「のびやかに育て 大地の芽」はあたたかな環境の中で一人一人の心に寄り添い人や物・自然との豊かな出会いや体験を通して生きていく力を育てるという考えで子どもを尊重しています。また、その保育理念は保育方針・目標と一緒に入社前研修で職員に周知されています。そして、毎年自己チェック表で確認して保育に実践しています。
- ・保育士は子ども一人一人の気持ちを大切に保育にあたっていて、穏やかで分かりやすい言葉で話しかけています。子どもを注意する時には、なぜいけないかについてかみくだいて説明し、子どもが納得できるように働きかけています。
- ・ままごとコーナーや廊下など、友達や保育士の視線を意識せずに過ごせる場所があります。子どもと一対一で話し合いたい時には、廊下や事務室を用いています。着替えやトイレなどの時には、他の子どもの視線が気にならないよう保育士はパーテーションを用いて仕切っています。
- ・遊びや行事の役割、順番、グループ分け、整列等を性別にしていません。気になる事例があった時には、職員会議やミーティングで取り上げ、話し合っています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしている保育理念・保育方針を基にして作成しています。そして毎年度クラスごとに見直しています。
- ・保育士は子どもの遊ぶ様子を見守り、子どもの発想を褒めたり、一緒に遊んだり、遊び方のヒントを出したりし、子どもが遊びを発展できるよう支援しています。遊びにはいれない子どもには、声をかけて誘い一緒に遊ぶ中で、子どもが自分から遊びにはいれるように働きかけています。
- ・乳児は表情や身振りから子どもの気持ちを汲み取れるように観察し代弁することで気持ちを満たせるように配慮しています。
- ・幼児保育室には、廃材やテープ、スタンプなどの素材が豊富に用意されていて、自由遊びの時間には、子どもたちが自由に取り出して、作品作りに取り組んでいます。作りかけの作品をしまっておく「続きのかご」を用意し、子どもが納得できるまで作り続けられるように工夫しています。
- ・送迎時には、保護者とコミュニケーションをとり、子どもの様子について情報交換しています。乳児は毎日、幼児は必要時に連絡帳を用い、保護者と情報交換しています。
- ・保護者から相談を受けた保育士は必ず、園長、主任に報告し、助言を受けています。必要に応じて、園長が個人面談を設定するなどしています。相談は記録し、職員会議で共有し、継続的にフォローできるようにしています。
- ・園は子どもが楽しく食事をすることを大切にしています。乳児は、個々の子どもに合わせて盛り付ける量を加減し、子どもが完食した達成感を感じられるようにしています。幼児は、食べる前に量を減らしてもらおうよう自分で伝えています。毎月、園長、主任、栄養士、各クラス担任で給食会議、離乳食会議を実施し、喫食状況について話し合っています。検討の結果を形状や大きさを調整するなど、次回の調理方法や味付けに反映しています。栄養士は毎日、全クラスの食事の様子を見て回り、離乳食を食べさせたり、幼児と一緒に食事したりしています。
- ・子ども一人一人の排泄間隔を把握し、オムツ交換やトイレへの声かけをしています。排泄の間隔が開いてきて子どもが興味を持った様子を見ながら保護者に声をかけ、保護者と相談しながらトイレトレーニングを始めています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・保健衛生マニュアルがあり、それに基づき、子ども一人一人の健康状態を把握しています。
- ・感染症に関するマニュアルがあります。入園のしおりに登園停止基準と感染症の疑いが生じた場合の対応

について記載し、入園説明会で保護者に説明しています。保育中に発症した場合には、保護者に連絡しお迎えをお願いし、受診を依頼しています。受診の結果の報告も頼んでいます。保護者のお迎えを待つ間は職員室や空いている保育室を利用し、感染拡大を防いでいます。

- ・衛生管理マニュアルおよび清掃マニュアルがあります。マニュアルは運営法人の看護師会で毎年見直されています。ノロウィルスの流行時期に、乳児、幼児ミーティングで嘔吐処理マニュアルの読み合わせを全職員で実施し、対応法を確認しています。
- ・危機管理マニュアルがあり、事故や災害などに適切に対応しています。緊急時の保護者への連絡は、災害用伝言ダイヤルと安心掲示板で行っていて、訓練も実施しています。
- ・事故防止・事故対応マニュアルがあり、保護者や地域の関係機関への連絡体制ができています。子どものケガは事故報告書やヒヤリハット記録に記録し、毎月のヒヤリハットミーティング（園長、主任、幼児代表、乳児各クラス担任）で、環境設定や職員配置を見直すなど、ケガや事故を未然に防ぐための工夫について話し合っています。

4、地域との交流・連携

- ・横須賀市役所や横須賀市療育相談センターなどの地域の関係機関や医療機関などをリスト化し、職員室に掲示しています。関係機関との連携の担当者は園長で日常的に連携しています。
- ・運動会に卒園生を招待しています。また、夕涼み会、運動会、人形劇鑑賞会、生活発表会に地域の親子を招待しています。商店街の七夕やクリスマスのイベントに園として参加しています。中学生の職業体験や高校生のコミュニケーション学習に協力して生徒を受け入れています。
- ・近隣の姉妹園と日常的に交流しています。平塚農業高校に姉妹園と一緒に芋掘りに出かけています。近隣小学校の給食交流会に5歳児が参加しています。敬老の日には、4、5歳児が地域のデイサービスを訪問しお年寄りと交流しています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・理念・基本方針を明文化したものの「保育ガイド」を全職員に配布しています。運営法人で新入社員研修を行い、社員になる心得・規範・倫理を周知しています。全職員に配布している業務マニュアル「保育ガイド」には人権の尊重・倫理規定が明文化されています。
- ・主任は運営法人主催の主任会に出席し、育成会議研修を定期的に行っています。また、外部研修にも参加し情報を得ながら保育の見直しも行っています。主任は保育の現場にも随時入ったりしながら職員全体の様子を把握し適宜アドバイスをしています。主任は職員の気持ちに寄り添い、園長とのコミュニケーションを取り持つように努めています。
- ・運営法人で毎月行われる園長会の中で運営法人と園長達が意見交換を活発に行い、運営に対するサービス向上・保育の質の向上を常に検討しています。運営面での重要な課題等は職員会議で取り上げて議論し、解決策を見出しています。

6、職員の資質向上の促進

- ・保育専門学校や大学から実習生を受け入れていて、受け入れ時の記録があります。実習生受け入れの担当は主任で、実習生の希望を聞き、プログラムを調整しています。最終日には反省会を行っています。実習終了後に感想文を書いてもらい、全職員で閲覧しています。
- ・園内研修は職員で毎年内容を検討しテーマを決めています。外部研修・運営法人研修。園内研修を職員が自主的に受けています。毎年度、園長が職員の研修計画を立てそれを基に職員と面談して一人一人職員の研修内容を決めています。
- ・園長は日常的に保育室を巡回しながら職員の意見や提案がしやすいように努めています。また、職員の意見を聞いて柔軟に業務改善の見直しを行っています。役割分担表を作成して職員の経験や能力に応じて役割分担を行っています。

分類別評価結果


※ 横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。

※  ← 「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

※ 評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。 (2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。 (3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念の「のびやかに育て 大地の芽」はあたたかな環境の中で一人一人の心に寄り添い人や物・自然との豊かな出会いや体験を通して生きていく力を育てるという考えで子どもを尊重しています。また、その保育理念は保育方針・目標と一緒に入社前研修で職員に周知されています。そして、毎年自己チェック表で確認して保育に実践しています。 ・保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしている保育理念・保育方針を基にして作成しています。そして毎年度クラスごとに見直しています。 ・乳児は表情や身振りから子どもの気持ちを汲み取れるように観察し代弁することで気持ちを満たせるように配慮しています。 ・幼児には行事や遊びなどやりたい気持ちを大切に子どもの意見・発想を反映させて達成感を味わいたのしい活動や遊びが発展できるように指導計画を作成しています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  <p>(1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。 (2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。 (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の面談は、園長と主任が行う面談と、栄養士の面談を行います。その際、子どもを保育士が預かり様子を観察して記録します。面談で得た情報はファイリングし、入園前に全職員で共有します。担任は再度確認して個々の様子や状況を把握するように努めています。そしてそれらを基に保育方針を立てています。 ・0、1歳の新入園児には担当保育士を決め、安心できる環境づくりをしています。 ・必要があれば家庭で慣れている玩具やタオル、おしゃぶりなど持ってきてもらえるよう柔軟に対応しています。 ・幼児、乳児ミーティングや各クラスでカリキュラムミーティングを行い、子ども一人一人の状況や様子について話し合っ指導計画を作成しています。また、指導計画は園長、主任が添削を行って全職員で考えています。

I-3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・各保育室にある空気洗浄機・加湿器・換気扇と併せて定期的に窓を開けて換気を調整しています。
- ・夏季冬季の基準室温を明記してエアコンの設定温度を決め、外気温との差が大きくなるようにしています。
- ・採光に関して活動時は明るい色、午睡時には落ち着いた明るさになるように配慮しています。
- ・呼び出し音のチャイムの音量も午睡の時間など配慮して調整しています。
- ・沐浴施設があり、夏季には基本的に毎日沐浴しています。
- ・シャワー設備があり、夏季には基本的に毎日浴びています。また、プール遊びの前後にもシャワーを浴びています。
- ・食事の場所・寝る場所・遊ぶ場所を分けてそれぞれの活動に集中できるように保育士が連携してセッティングしています。
- ・散歩・給食・ゲームあそび・水あそび等、異年齢で活動できる日を計画しています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2)子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。


- ・0・1・2歳児はカリキュラムミーティングで個々の子どもの様子に沿って保育指導について話し合い、個別支援計画を作成しています。
- ・子どもの支援の様子に合わせて週ごとに一日単位で子どもの様子を記録して振り返りを行っています。
- ・個人面談で聞き取りした家庭状況についても記録保管し全職員が共有できるようにしています。
- ・個々の発達状況で0歳児は毎月、1歳児以上は4期に分けて児童票に記録し個別にファイリングして保管しています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み




- (1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか。

- ・家庭の状況で配慮が必要な子や発達に課題ある子、アレルギー児については万全に迎える為に職員会議で話し合い、必要に応じて個別に話す時間を設定し記録に残していつでも見られるようにしています。
- ・障がい特性を配慮し活動が行いやすいようにロッカーの目隠しをしたり、位置を移動したりして過ごしやすい環境に努めています。
- ・月一回、臨床心理士に子どもの様子を見てもらい園長、主任、担任を交えて話し合い専門家の意見も取り入れて保育に生かしています。
- ・入社前の運営法人研修で虐待の研修を受けています。また、虐待についてのチェック項目を全職員で把握しています。
- ・虐待マニュアルがあり、虐待を確認した場合に園長は横須賀市児童相談所への通報・連絡・報告を行います。
- ・除去食は専用のトレー・食器・名札を使用し、配膳の際はアレルギー

<p>(5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<p>ーチェック用紙を基に声出し確認の上、担任、リーダー、園長、主任のみが配膳するように細心の注意を払っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化や習慣の違いについては尊重し、保護者には無理のない程度で日本の習慣についても食の違いや宗教上のことなどを伝えていきます。
<p>I - 6 苦情解決体制</p>  <p>(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決システムがあります。苦情を受け付ける窓口の案内を保護者全員に配布、掲示しています。 ・玄関に目安箱を設置し保護者の園に対しての意見、要望、苦情を受け付けています。 ・苦情解決マニュアルが掲示してあり職員も迅速に対応出来るようにしています。 ・要望や苦情が上がった場合は職員に周知して解決策を早急に行って全体に周知しています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ - 1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室には、子どもの目線に合わせおもちゃや絵本が並べられていて、子どもが自分で選んで遊べるようになっています。乳児には、大きなブロックや手作りおもちゃ、幼児にはカルタやドミノ、パズルなど、年齢や発達に合わせたおもちゃが用意されています。おもちゃは子どもの発達成長にあわせ、入れ替えています。 ・5歳児がたこ焼き屋などの夜店を作り3、4歳児を招待したなど、子どもの発想を受け止め集団活動に発展させています。自由遊びの時間には、子どもたちは窓際のベンチに座って一人でゆっくりと絵本を読んだり、友だちとままごと遊びやお店屋さんごっこをしたり、友だちと相談して廃材工作をしたりと、それぞれが自由に好きな遊びをしています。 ・保育士は子どもの遊ぶ様子を見守り、子どもの発想を褒めたり、一緒に遊んだり、遊び方のヒントを出したりし、子どもが遊びを発展できるよう支援しています。遊びに入れられない子どもには、声をかけて誘い一緒に遊ぶ中で、子どもが自分から遊びには入れるように働きかけています。 ・メダカ、カメ、金魚、バッタ、カマキリなどを飼育しています。メダカは産卵から誕生、小さなメダカが成長する様子を観察しました。テラスのプランターでミニトマトやピーマン、なす、ラディッシュなどを栽培し、観察画を描いたり、収穫した野菜を給食で食べるなど、保育活動にフィードバックしています。

- ・天気が良ければ毎日のように散歩に出かけ、近隣の公園や海岸で、子どもたちは季節の花を見たり虫を捕ったりと自然に触れています。また、クッキングの買い出しで商店街の八百屋に買い物に行き、一人一個ずつ買い物をしておつりやレシートを受け取る経験をしたり、米屋で精米して白米になる様子を見学したりしています。
- ・リズム遊びや歌、リトミック、楽器演奏、造形活動など、年齢や発達に合わせて一人一人が自分の思いを表現できるような活動を取り入れています。幼児は月1回外部講師による絵画教室を行っています。幼児保育室には、廃材やテープ、スタンプなどの素材が豊富に用意されていて、自由遊びの時間には、子どもたちが自由に取り出して、作品作りに取り組んでいます。作りかけの作品をしまっておく「続きのかご」を用意し、子どもが納得できるまで作り続けられるように工夫しています。
- ・子ども同士のけんかにおいては、乳児は保育士が間に入って止め、双方の思いを受け止めて仲立ちしています。幼児は、保育士は自分たちで話し合い解決できるよう見守っていますが、様子を見て仲立ちに入り、子どもが自分の思いを言葉で表現し解決できるよう支援しています。保育士は、子ども同士の関係を観察して把握しカリキュラムミーティングで共有し、子どもの発達状況に応じた統一した対応ができるようにしています。
- ・行事や誕生会などは全園児合同で行っています。3歳児～5歳児は朝夕の自由遊びや給食、朝の会帰りの会などを一緒に行っていて日常的に交流しています。2階が幼児、3階が乳児と分かれています。乳児が幼児と一緒に散歩に出かけたり、2歳児がリトミックや活動を一緒に行うなど交流しています。
- ・公園ではリレーや縄跳び、ボール遊び、鉄棒などで子どもたちは身体を動かし、運動能力を高めています。室内でもマットや跳び箱、鉄棒などを取り入れています。夏場にはテラスでプール遊び、水遊びをしています。幼児は、月1回外部講師による体操指導を行っています。

Ⅱ－1 保育内容[生活]



- (7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

- ・園は子どもが楽しく食事することを大切にしています。乳児は、個々の子どもに合わせて盛り付ける量を加減し、子どもが完食した達成感を感じられるようにしています。幼児は、食べる前に量を減らしてもらうよう自分で伝えています。
- ・食育計画書を作成し、クッキングや栽培などの食育活動を行っています。クッキングとしては、キノコほぐし、うどんふみ、パン作り、カレー作りなどを年齢にあわせ行っています。自分たちで育てた野菜を調理して食べたことで、苦手なピーマンが食べられるようになった子どももいます。

- (9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。



- ・節分やひな祭り、誕生日会などの行事食や郷土料理を献立に取り入れています。誕生日会には栄養士と行事担当保育士が相談しテーマに沿った献立を提供しています。3、4、5歳児は一緒に食事をし、席も自由で、子どもの要望を聞いて異年齢やクラスごとなど、グループを決めています。
- ・食材はなるべく国産を用い、生産地を確認しています。食器は陶器を用いています。
- ・毎月、園長、主任、栄養士、各クラス担任で給食会議、離乳食会議を実施し、喫食状況について話し合っています。献立は月2回のサイクルメニューとなっていて、検討の結果を形状や大きさを調整するなど、次回の調理方法や味付けに反映しています。栄養士は毎日、全クラスの食事の様子を見て回り、離乳食を食べさせたり、幼児と一緒に食事したりしています。
- ・献立表を作成し、保護者に配布しています。0歳児は6月の保育参観で離乳食紹介と試食を行っています。また、給食の試食会を実施しています。
- ・0歳児は個々の子どもの生活リズムを大切にし、子どもが眠くなったら入眠できるようにしています。眠れない子ども、眠くない子どもには、午睡を強要せず、静かに身体を休める時間としています。
- ・乳幼児突然死症候群（SIDS）対策として、0歳児は5分おき、1歳児は10分おき、2歳児は30分おき、幼児は1時間おきに呼吸チェックをし、睡眠チェック表に記録しています。
- ・子ども一人一人の排泄間隔を把握し、オムツ交換やトイレへの声かけをしています。オムツを交換するときには、一対一で言葉をかけたり会話をしたりしながらゆったりとした時間となるようにしています。排泄の間隔が開いてきて子どもが興味を持った様子を見ながら保護者に声をかけ、保護者と相談しながらトイレトレーニングを始めています。

Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- (1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・保健衛生マニュアルがあり、それに基づき、子ども一人一人の健康状態を把握しています。登園時には、健康状態を口頭や連絡帳で確認し、視診をしています。入園時に、健康調査表に既往症や予防注射歴、子どもの健康状態について保護者に記入してもらっています。健康調査表は毎年年度末に保護者に見直してもらい加筆しています。園での子どもの健康状態に不安が見られた場合には、降園時に保護者に様子を説明し、受診を勧めるなど帰宅後の対応について話し合っています。
- ・年2回の健康診断、年1回の歯科検診、ぎょう虫検査、尿検査、毎月の身体測定を実施し、結果を定期健康診断表、歯科医検診票に記載しています。健康診断、歯科検診の結果は健康の記録を用い、保

	<p>護者に伝えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関するマニュアルがあります。入園のしおりに登園停止基準と感染症の疑いが生じた場合の対応について記載し、入園説明会で保護者に説明しています。保育中に発症した場合には、保護者に連絡しお迎えをお願いし、受診を依頼しています。受診の結果の報告も頼んでいます。保護者のお迎えを待つ間は職員室や空いている保育室を利用し、感染拡大を防いでいます。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理 管理・安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルおよび清掃マニュアルがあります。マニュアルは運営法人の看護師会で毎年見直されています。変更があった場合には、職員会議などで全職員に周知しています。また、園でもマニュアルの見直しをしています。ノロウィルスの流行時期に、乳児、幼児ミーティングで嘔吐処理マニュアルの読み合わせを全職員で実施し、対応法を確認しています。 ・清掃マニュアル、掃除チェック表を用いて清掃が行われていて、園内は清潔に保たれています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理 管理・安全管理 [安全管理]</p>  <p>(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> <p>(6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。</p> <p>(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルがあり、事故や災害などに適切に対応しています。緊急時の保護者への連絡は、災害用伝言ダイヤルと安心掲示板で行っていて、訓練も実施しています。毎月、地震や火災、津波などを想定した避難訓練を実施しています。9月の総合避難訓練では、災害用伝言ダイヤルを用いた保護者の引き取り訓練も行っています。津波を想定した訓練では、屋上に避難しています。 ・保育室の作り付けでない棚や備品は、滑り止めを用いて転倒防止策を施しています。棚の上に物を置かないようにし、置くときは滑り止めを用いています。 ・園には AED 装置が設置されていて、全職員が救命救急法の研修を受講しています。 ・事故防止・事故対応マニュアルがあり、保護者や地域の関係機関への連絡体制ができています。子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に報告しています。伝言板を用いて伝達し、担任がいなくても確実に保護者に伝わるようにしています。子どものケガは事故報告書やヒヤリハット記録に記録し、毎月のヒヤリハットミーティング（園長、主任、幼児代表、乳児各クラス担任）で、環境設定や職員配置を見直すなど、ケガや事故を未然に防ぐための工夫について話し合っています。ヒヤリハットミーティングの議事録は回覧するとともにクラスでも報告しています。 ・玄関は施錠し、インターホンで確認してから解錠しています。マンション入り口はオートロックで施錠されています。不審者対策訓練を年2回実施しています。民間の警備会社により24時間警備を行っています。

Ⅱ－３ 人権の尊重



- (1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・乳児、幼児ミーティングで子どもへの対応について話し合い、言葉遣いや語調、一方的に注意していないかなどの振り返りをしています。絵カードや時計を取り入れたり、保育の流れを見直すなど子どもを注意しない環境設定を工夫しています。園長、主任は保育の様子を見て回り、気になる場合には指導やアドバイスをしています。保育士は子ども一人一人の気持ちを大切に保育にあたっていて、穏やかで分かりやすい言葉で話しかけています。子どもを注意する時には、なぜいけないかについてかみくだいて説明し、子どもが納得できるように働きかけています。
- ・ままごとコーナーや廊下など、友達や保育士の視線を意識せずに過ごせる場所があります。子どもと一対一で話し合いたい時には、廊下や事務室を用いています。着替えやトイレなどの時には、他の子どもの視線が気にならないよう保育士はパーテーションを用いて仕切っています。
- ・守秘義務に関するマニュアルがあり、入社時の研修で説明し、「機密保持契約書」を取っています。個人情報管理マニュアルがあり、全職員に周知しています。保護者に対しては入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、「個人情報使用承諾書」に署名してもらっています。HP への掲載、写真販売会社への画像データ提供等についても同意を得ています。個人情報に関する記録は事務室の施錠できるロッカーに保管し、マニュアルに則り適切に管理しています。
- ・遊びや行事の役割、順番、グループ分け、整列等を性別にしません。保護者への配付物は「保護者」という言葉を用いるなど、父親・母親の役割を固体的にとらえた表現をしないようにしています。気になる事例があった時には、職員会議やミーティングで取り上げ、話し合っています。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携





- (1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3)保護者の相談に応じているか。
- (4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5)保護者の保育参加を進めるための工夫

- ・入園説明会で理念・保育方針について保護者に説明しています。また、年度初めの進級説明会で、保護者に園長が理念・保育方針や年間の予定と方針について説明し、その後のクラス懇談会で担当が、クラスの運営方針について説明しています。入園のしおり、重要事項説明書、パンフレットに保育理念、保育方針、保育目標を掲載しています。
- ・送迎時には、保護者とコミュニケーションをとり、子どもの様子について情報交換しています。乳児は毎日、幼児は必要時に連絡帳を用い、保護者と情報交換しています。年2回、個人面談を実施するほか、保護者から要望があれば随時個人面談を実施していて、記録しています。
- ・保護者からの相談には事務室や3歳児の保育室を用い、人に聞かれないで相談が出来るように配慮しています。保護者から相談を受け



<p>をしているか。</p> <p>(6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。</p>	<p>た保育士は必ず、園長、主任に報告し助言を受けています。必要に応じて、園長が個人面談を設定するなどしています。相談は記録し、職員会議で共有し、継続的にフォローできるようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、園だより、クラスだより、給食だより、保健だよりを発行しています。クラスだよりは担任の思いが伝わるよう手書きとしています。保育室の前にクラスの活動の様子を記載したボード「今日の出来事」を掲示しています。活動の様子を写真に撮って一緒に掲示し、保護者に子どもの様子や表情を伝えています。年2回のクラス懇談会で、活動内容や目的、子どもの様子などを説明しています。 ・年2回保育参観を実施しています。6月は土曜日に行い親子で楽しめる企画としています。0歳児は保育参観時に離乳食の試食会を行っています。2月は平日3日間を設定して保護者の都合の良い日に自由に参観できるようにし、保護者が普段の活動の様子を見ることが出来るようにしています。 ・保護者会があり、常にコミュニケーションを取っています。保護者役員会に保育室を提供していて、園長が出席しています。また、保護者の要望で卒園のお別れ会の会場として保育室を貸し出し、職員も招待を受けて参加しています。 ・ただし、全体的に保護者アンケートの満足度が高い中、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」、「保護者からの相談事への対応」で「どちらかといえば不満」の回答が高くなっています。観察時にも、保護者に対する声かけが少ないのではと思われる場面が見受けられましたので、今後の取り組みが期待されます。
--	--

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に加盟し、地域の情報を得ています。また、保育開放の参加者や見学者からの育児相談を通して、地域の子育て支援に関する情報を把握しています。横須賀市園長会や幼保小教育連携事業の会議や研修、地域の私立小学校との交流などに参加し情報を得ています。ただし、園から積極的にニーズ把握のために働きかけることが少なく、園としてはもう一歩踏み込んだニーズの把握が必要と考えています。今後は、保育開放等の参加者にアンケートを実施するなど、育児支援ニーズを把握するために園側からも働きかけることが期待されます。 ・地域の子育て支援事業としては、保育開放と夕涼み会や運動会、人形劇鑑賞等の行事への招待を実施しています。保育開放は、同じ年齢の子どもが交流する場として、年2回3日間開催し、保護者の育児相談にも応じています。今年度は、気楽な雰囲気の中での相談会

	「母親交流会」やお話会の開催を予定しています。また、離乳食講習・試食会を実施しています。
Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能  (1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育開放の際には育児相談を実施しています。見学者の育児相談にも応じています。ただし、定期的に相談日を設けて育児相談を実施することはしていません。 ・行事のポスターを商店街や地域の掲示板や横須賀市の子育てサロンに掲示しています。 ・横須賀市役所や横須賀市療育相談センターなどの地域の関係機関や医療機関などをリスト化し、職員室に掲示しています。関係機関との連携の担当者は園長で日常的に連携しています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ  (1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会に卒園生を招待し、夕涼み会、運動会、人形劇鑑賞会、生活発表会に地域の親子を招待しています。商店街の七夕やクリスマスのイベントに園として参加しています。中学生の職業体験や高校生のコミュニケーション学習に協力して生徒を受け入れています。 ・地域への設備開放や備品等の貸し出しの実績はありません。 ・町内会館や横須賀市南体育館、小学校の体育館、児童図書館、横須賀市民防災センター「あんしんかん」などを利用しています。散歩では、保育士と子どもたちは地域住民と挨拶や会話をし、交流しています。 ・近隣の姉妹園と日常的に交流しています。平塚農業高校に姉妹園と一緒に芋掘りに出かけています。近隣小学校の給食交流会に5歳児が参加しています。敬老の日には、4、5歳児が地域のデイサービスを訪問しお年寄りと交流しています。
Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供  (1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで園の情報を提供しています。また、横須賀市子育てサロンに園のパンフレットを置いています。パンフレットには保育理念や方針、保育園の概要、料金、年間行事予定など必要な情報がわかりやすく掲載されています。また、横須賀市保育課に園の空き情報を提供し、市のホームページに掲載しています。 ・利用希望者の問い合わせに対しては、園長、主任が常時対応しています。見学の曜日や時間は見学希望者の希望を聞いて、調整しています。見学者に対して、パンフレットと入園のしおりを用い、園の基本方針や利用条件、サービス内容について説明しています。



IV-3 ボランティア・実習の受け入れ




- (1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。
- (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。



- ・ボランティアおよび実習生受け入れのためのマニュアルがあり、それに基づきオリエンテーションで園の方針や守秘義務、子どもへの配慮事項などを説明しています。守秘義務については説明の上「機密保持誓約書」に署名してもらっています。ボランティアや実習生をの受け入れにあたり、あらかじめ職員に説明しています。保護者には、園だよりで知らせています。
- ・中学生の保育体験を受け入れていて、受け入れ時の記録があります。終了時には感想文を提出してもらい、職員間で閲覧しています。
- ・保育専門学校や大学から実習生を受け入れていて、受け入れ時の記録があります。実習生受け入れの担当は主任で、実習生の希望を聞き、プログラムを調整しています。最終日には反省会を行っています。実習終了後に感想文を書いてもらい、全職員で閲覧しています。


評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<h3>V-1 職員の人材育成</h3>  <ul style="list-style-type: none"> (1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人で入社時に行われている新人研修や定期的開催されているレベルアップ研修で全職員が保育理念や方針を理解できるように人材育成の計画が立てられています。 ・毎年チャレンジ共有シートを記入して目標を設定しています。そのチャレンジ共有シートを用いて園長と面談をして自己を振り返り達成度の評価を行い、研修計画を立てています。 ・園内研修は職員で毎年内容を検討しテーマを決めています。外部研修・運営法人研修・園内研修を職員が積極的に受けています。毎年度、園長が職員の研修計画を立てそれを基に職員と面談して一人一人職員の研修内容を決めています。 ・パート会議を月に一回行っています。園長、主任が担当し基本方針から日々の保育内容などマニュアル「保育ガイド」を配布し理解して実行できるよう指導しています。
<h3>V-2 職員の技術の向上</h3>  <ul style="list-style-type: none"> (1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。 (2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ共有シートを用いて自己を振り返る機会を設けています。そして園長と面談する中で今何が必要なのか気づきを得て目標を立てています。 ・外部研修や他施設、系列園で得たものは検討した上で園に取り入れることでサービス向上に繋げています。 ・年間計画、月案、週案、児童票、発達経過記録等の計画記録には園長、主任が必ず目を通し保育の内容・自己評価について指導やアドバイスをしています。 ・保育課程をもとに年間計画を作成し、目標に近づく保育が達成されて

<p>に努める仕組みがあるか。</p> <p>(3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<p>いるか自己評価を行いながら反省を行い次年度への保育計画、行事の実施に反映するように努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や保育方針、保育課程を基に作成した「にじいろの保育」を用いて職員全員で自己評価を行っています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士としての資質を「初任」「自立」「見本」と、3つのステージに分け、経験能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されています。 ・園長は日常的に保育室を巡回しながら職員の意見や提案がしやすいように努めています。また、職員の意見を聞いて柔軟に業務改善の見直しを行っています。 ・職員の経験や能力に応じて役割分担を行っています。リーダー、行事担当・誕生会担当の他に教材・消耗品・誕生カード・環境・職員厚生会の係担当を決めて一人一人職員が運営している意識が向上するように配慮しています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人で新入社員研修を行い、社員になる心得・規範・倫理を周知しています。全職員に配布している業務マニュアル「保育ガイド」には人権の尊重・倫理規定が明文化されています。 ・ゴミの分別、減量化に努めています。牛乳パックや食品トレーは洗って手づくり用品（足置き・ベンチ）に利用したり、地域のリサイクル回収場所（イオン）に協力しています。 ・教材においても広告や廃品を製作の材料に使ったり裏紙をお絵描き用紙に利用しています。 ・環境への取り組みについては事業計画「環境への取り組み」に明文化しています。また、保育室にも掲示して意識を持てるように努めています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・基本方針を明文化したものの「保育ガイド」を全職員に配布しています。 ・施設長は日常的に保育において気が付いた事は基本方針と結びつけて職員に伝えるようにしています。 ・重要な意思決定に関しては保護者懇談会、運営委員会や必要に応じて臨時会を開催するなどして意見交換するようにしています。重要な意思決定（変更）については運営法人園長会で話し合い、園長から職員に説明しています。 ・主任は運営法人主催の主任会に出席し、育成会議研修を定期的に行っ

<p>護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<p>ています。また、外部研修にも参加し情報を得ながら保育の見直しも行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任は保育の現場にも随時入ったりしながら職員全体の様子を把握し適宜アドバイスをしています。 ・主任は職員の気持ちに寄り添い、園長とのコミュニケーションを取り持つように努めています。
<p>VI-3 効率的な運営</p>  <p>(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人や横須賀市等から事業運営に影響のある情報が上がった場合は全職員に回覧等で周知しています。 ・記事の提供や重要事項については職員会議等で取り上げて自園に合わせて保育活動に反映するようにしています。 ・運営法人で毎月行われる園長会の中で運営法人と園長達が意見交換を活発に行い、運営に対するサービス向上・保育の質の向上を常に検討しています。 ・運営面での重要な課題等は職員会議で取り上げて議論し、解決策を見出しています。 ・Ⅰ. 保育の質の向上、Ⅱ. 安全な施設環境の確保、Ⅲ. 地域支援の3つを重点課題とした中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成しています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2017年6月14日～6月28日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 56.6%（回収30枚／配付53枚）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…5人、1歳児クラス…5人、2歳児クラス…4人、3歳児クラス…6人、
4歳児クラス…4人、5歳児クラス…6人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

※ 文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

「その他」、「無回答」を除く回答総数において、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計の割合をみると、以下のような結果になっています。

- ・総合的な評価は「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると100%になっています。
- ・「保育園の保育目標・保育方針について知っているか」の問いに、「よく知っている」、「まあ知っている」が50%未満で、「どちらとも言えない」、「あまり知らない」の方が多くなっています。ただ、「よく知っている」、「まあ知っている」と答えた利用者からは100%の賛同が得られています。
- ・「満足」、「どちらかといえば満足」の合計が100%になっている設問は、「入園前の情報提供」の他、「クラスの活動や遊び」、「外遊び」、「園日よりや掲示などによる情報提供」、「給食を楽しんでいるか」、「自立に向けての取り組み」、「昼寝や休憩」となっており、日常の保育などに対して保護者から高い評価が得られています。
- ・評価の低かった設問は、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については」（69.0%）、「保護者からの相談事への対応には」（75.9%）などで、保護者との連携・交流についての設問になっています。

以上の結果から、総合的に保護者の評価は高く、特に子どもの日常の保育内容に対して高い評価が得られています。これは、アンケート分析の母数（回収枚数）が低い中で、子どもの日常の保育内容に限らず、全体の項目に対して、高い評価が得られていることが、総合的な保護者の評価につながっている理由と言えます。

評価の低かった設問である、送り迎え、保護者からの相談対応や、保育目標や保育方針の周知など、保護者とのコミュニケーションの工夫が、さらなる取り組みと言えます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

にじいろ保育園サクセス久里浜ポピー

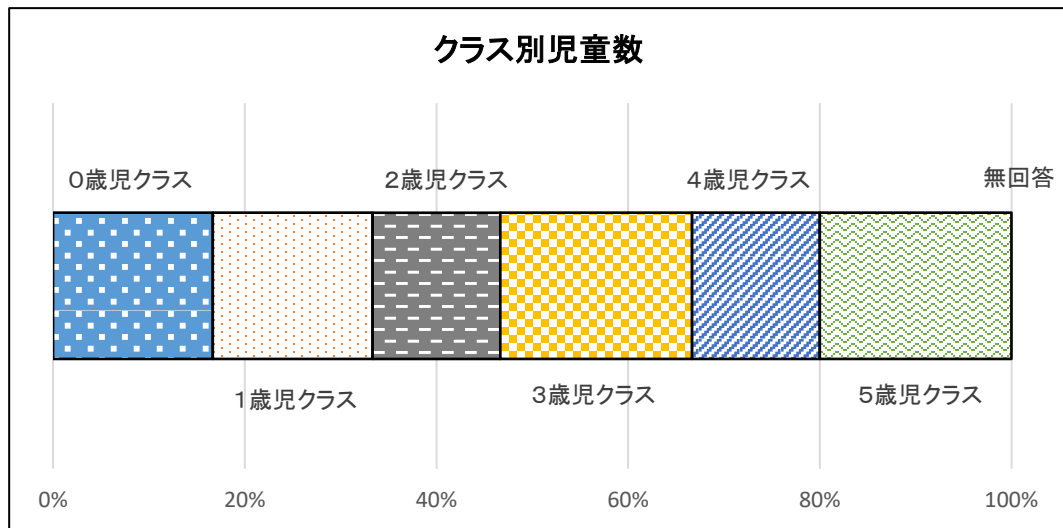
【属性】

クラス別児童数

(人)

合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
30	5	5	4	6	4	6	0

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

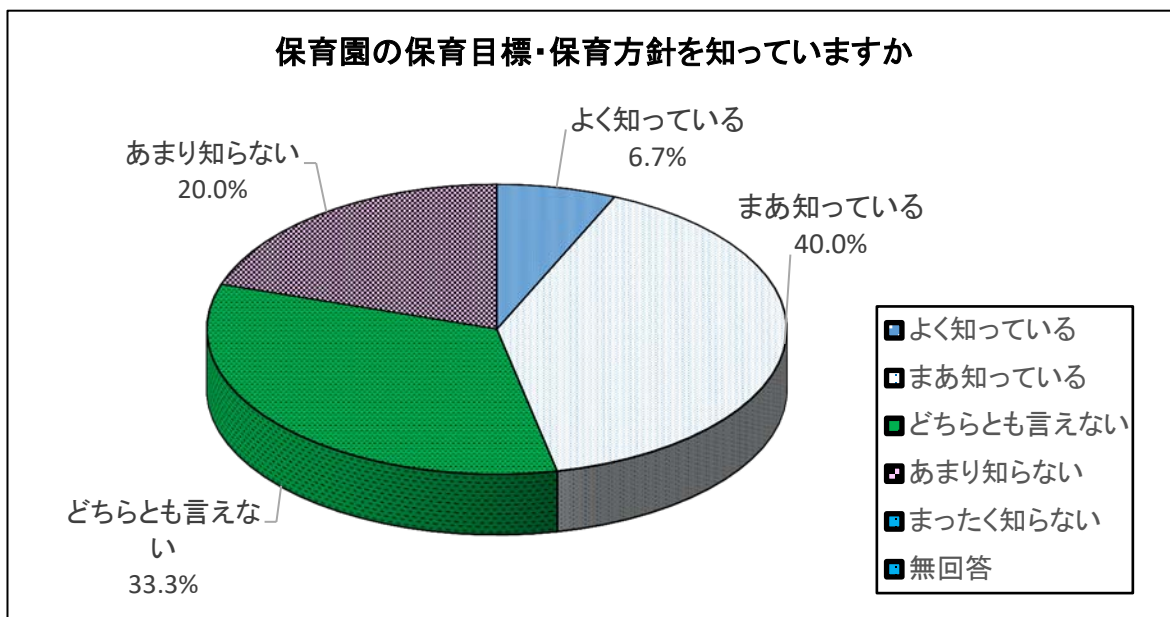


■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか。

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	6.7%	40.0%	33.3%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%

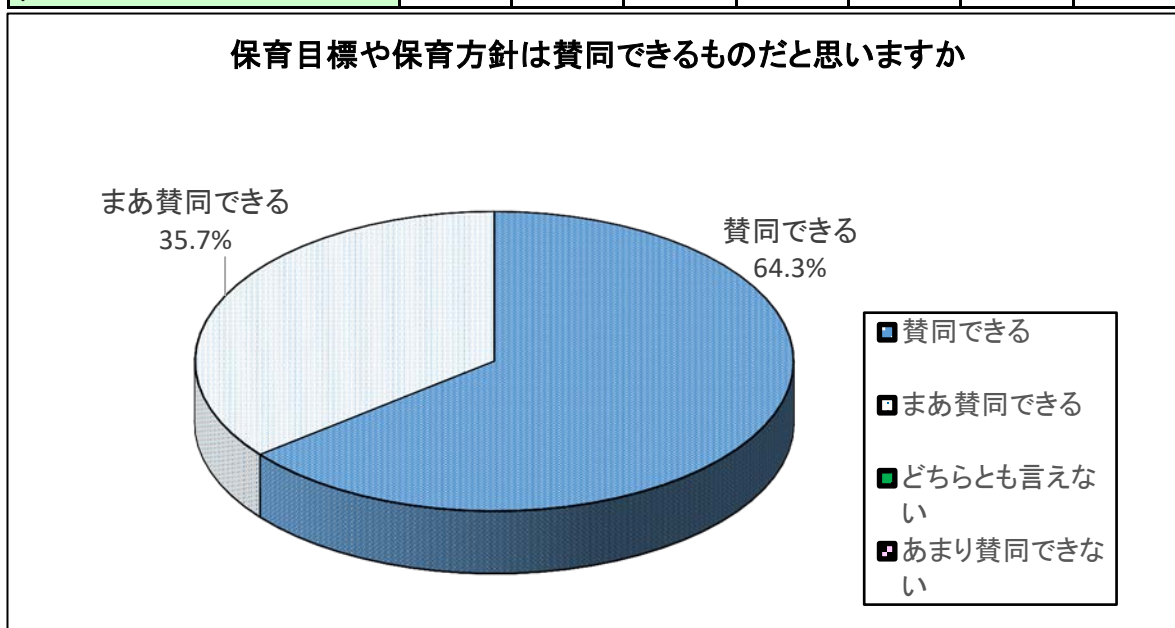
(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



■ 保育園のサービス内容について

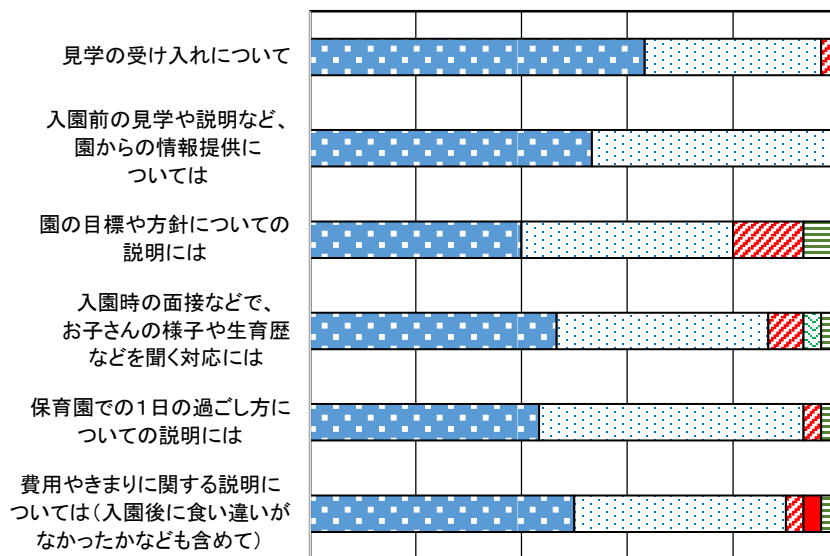
問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	63.3%	33.3%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園の目標や方針についての説明には	40.0%	40.0%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	100.0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	46.7%	40.0%	6.7%	0.0%	3.3%	3.3%	100.0%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	43.3%	50.0%	3.3%	0.0%	0.0%	3.3%	100.0%
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	50.0%	40.0%	3.3%	3.3%	0.0%	3.3%	100.0%

入園時の状況について

■ 満足 □ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 ■ 不満 □ その他 □ 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



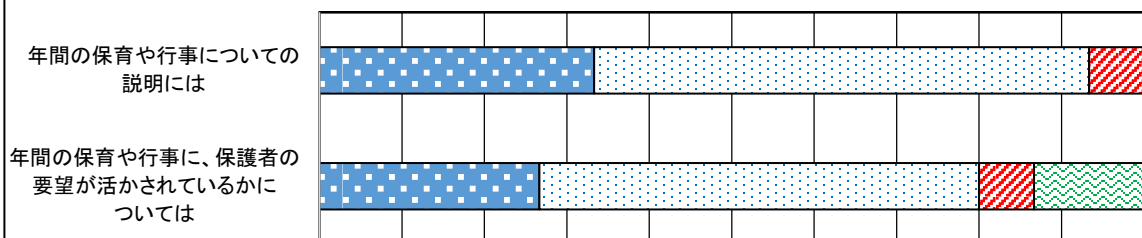
問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	26.7%	53.3%	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%	100.0%

年間の計画について

■ 満足 □ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 ■ 不満 □ その他 □ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

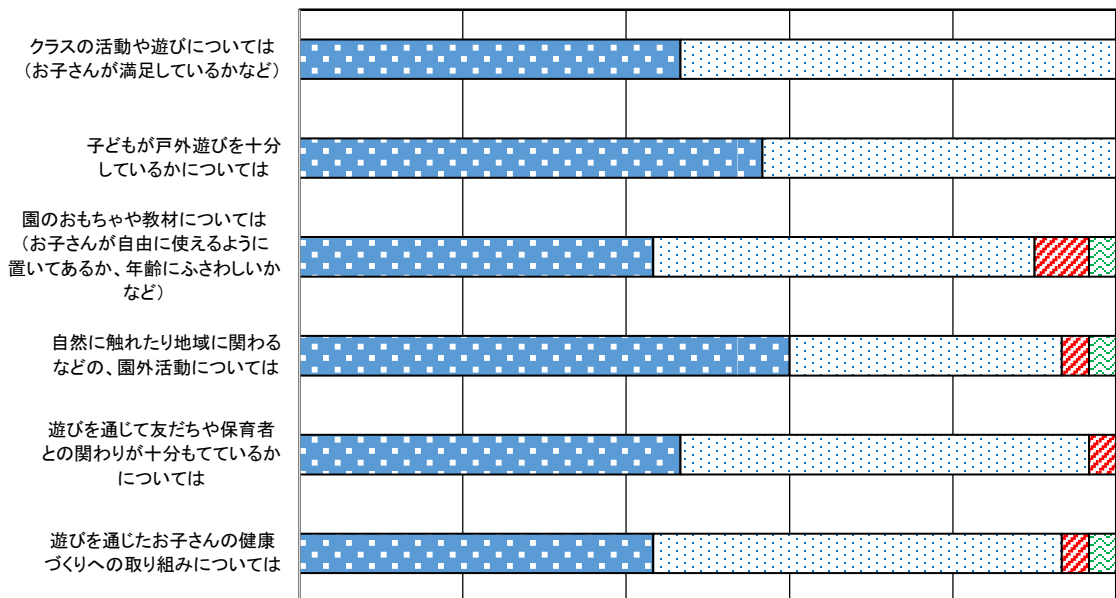
●「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	56.7%	43.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	43.3%	46.7%	6.7%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	60.0%	33.3%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	46.7%	50.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	43.3%	50.0%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%

日常の保育内容「遊び」について

■満足 □どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 □その他 □無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%

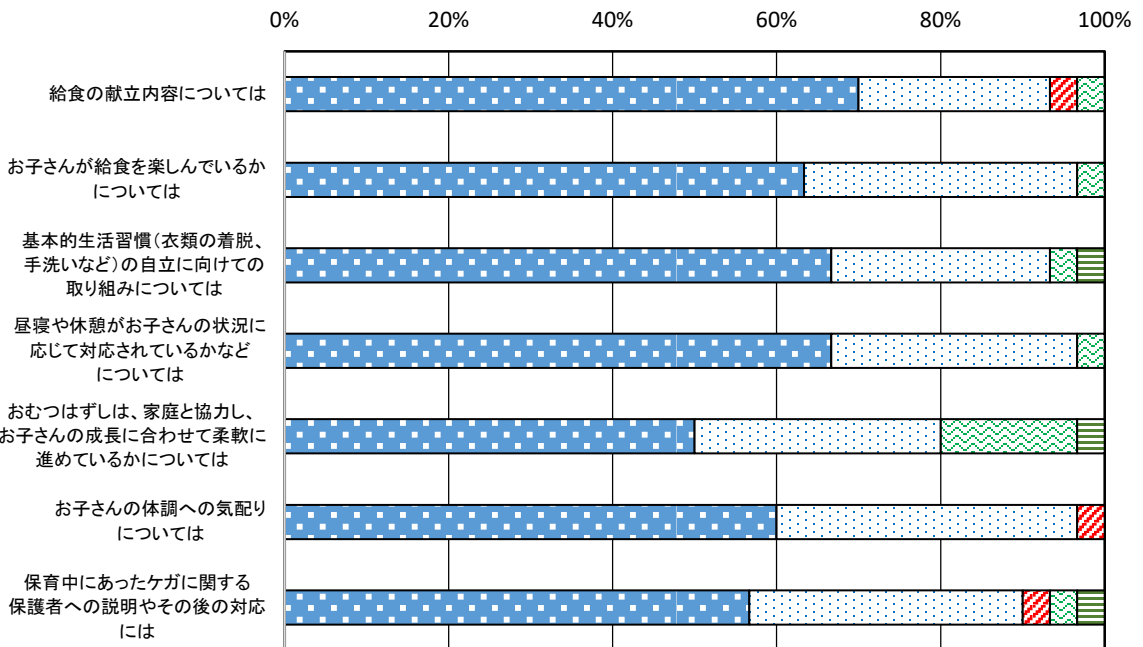


●「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	70.0%	23.3%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	63.3%	33.3%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	66.7%	26.7%	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%	100.0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	66.7%	30.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	50.0%	30.0%	0.0%	0.0%	16.7%	3.3%	100.0%
お子さんの体調への気配りについては	60.0%	36.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保育中であつたケガに関する保護者への説明やその後の対応には	56.7%	33.3%	3.3%	0.0%	3.3%	3.3%	100.0%

日常の保育内容「生活」について

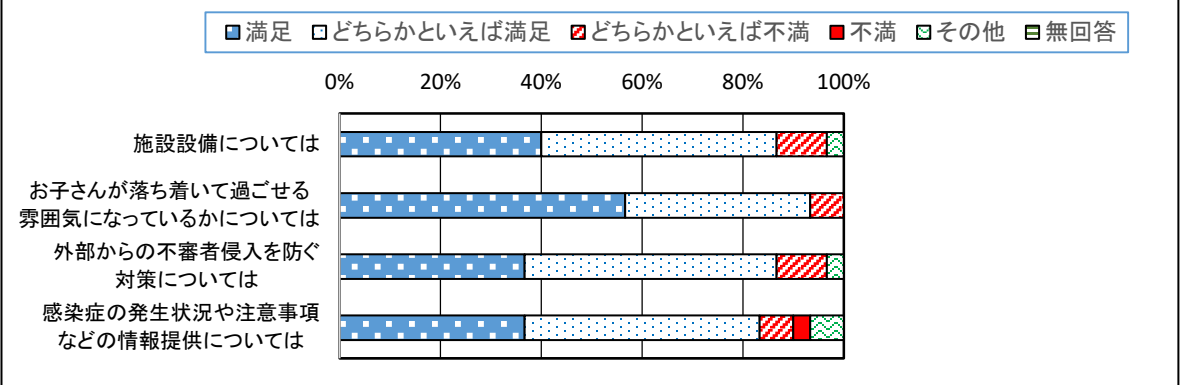
■ 満足 □ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 ■ 不満 ■ その他 ■ 無回答



問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	40.0%	46.7%	10.0%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	56.7%	36.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	36.7%	50.0%	10.0%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	36.7%	46.7%	6.7%	3.3%	6.7%	0.0%	100.0%

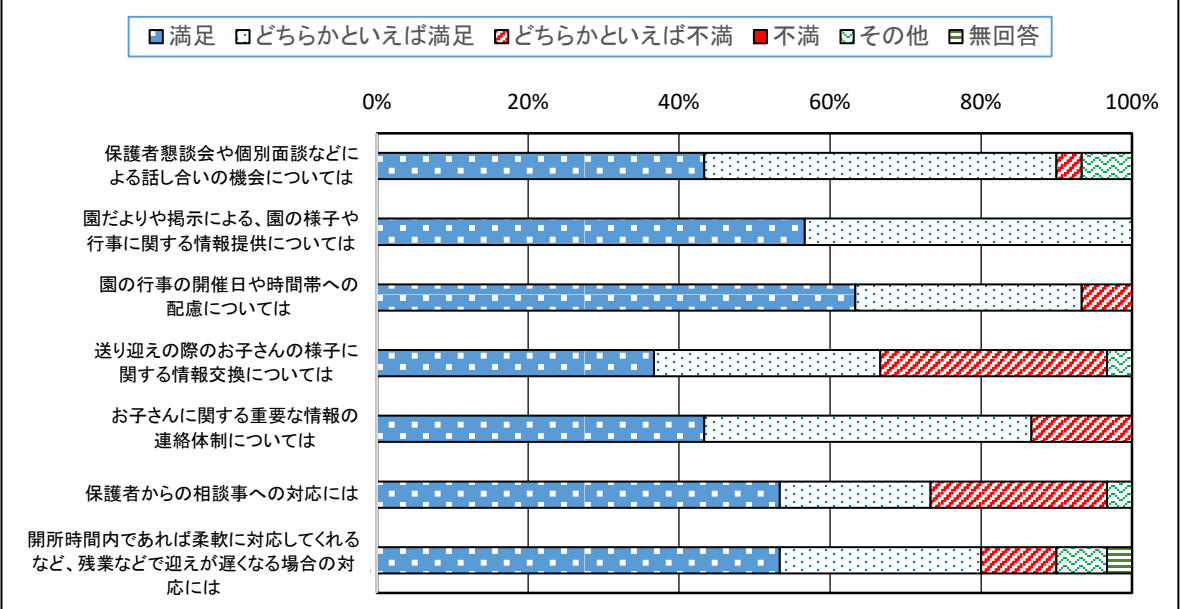
快適さや安全対策などについて



問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	43.3%	46.7%	3.3%	0.0%	6.7%	0.0%	100.0%
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	56.7%	43.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	63.3%	30.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	36.7%	30.0%	30.0%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	43.3%	43.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保護者からの相談事への対応には	53.3%	20.0%	23.3%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	53.3%	26.7%	10.0%	0.0%	6.7%	3.3%	100.0%

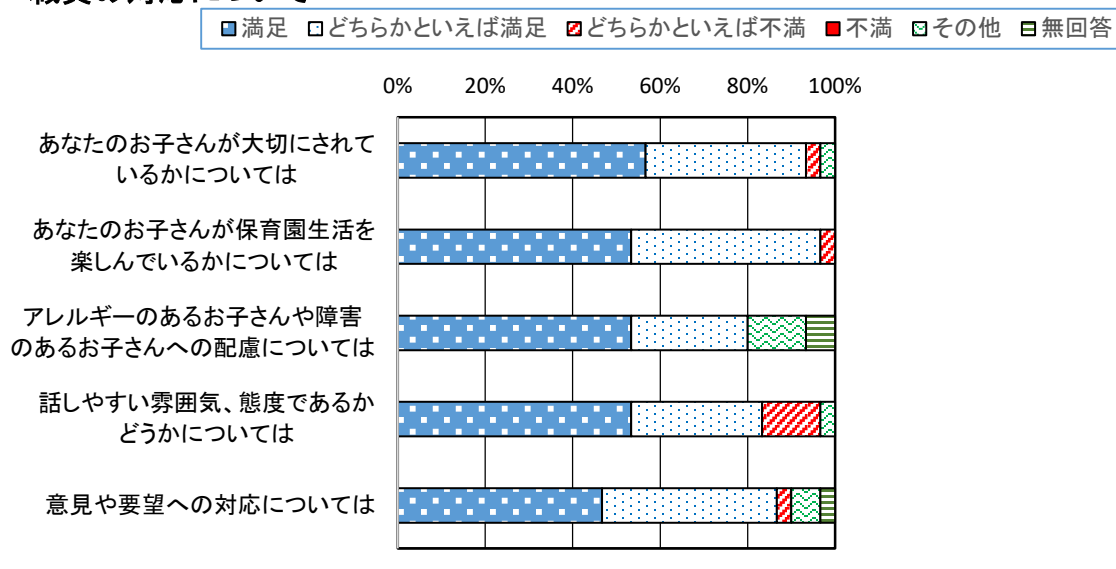
園と保護者との連携・交流について



問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

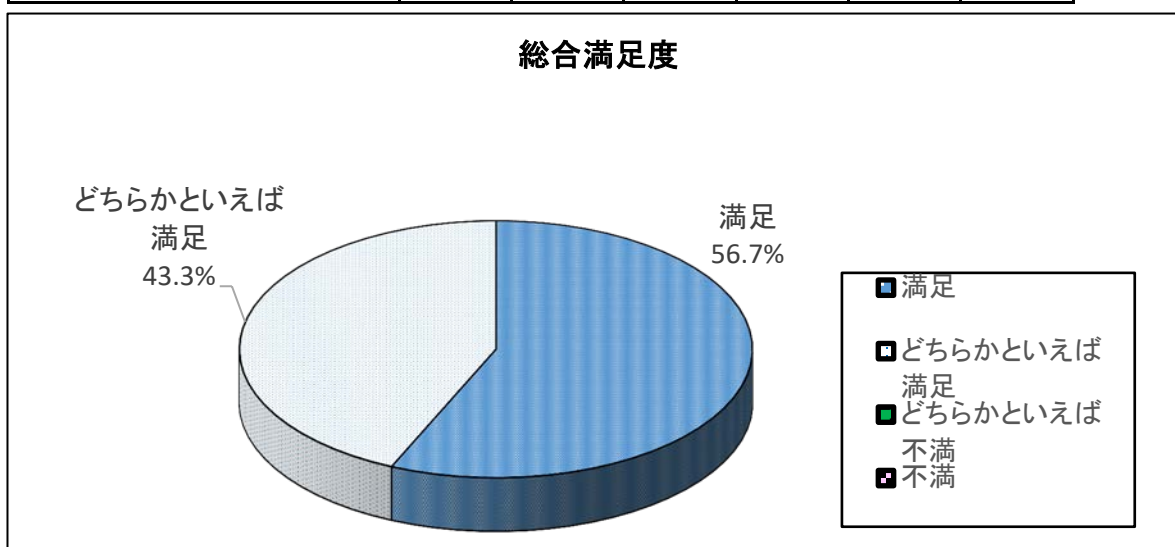
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	56.7%	36.7%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	53.3%	43.3%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	53.3%	26.7%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	53.3%	30.0%	13.3%	0.0%	3.3%	0.0%	100.0%
意見や要望への対応については	46.7%	40.0%	3.3%	0.0%	6.7%	3.3%	100.0%

職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	56.7%	43.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



利用者（園児）本人調査 分析

◆ 観察調査 ①8月17日（木）9：00～12：00 ②8月18日（金）9：00～12：00

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

◆ 0歳児クラス

朝の時間、子どもたちは畳のスペースで自由に遊んで過ごします。よちよちと歩き回る子ども、重ねるおもちゃを積んでいる子ども、おもちゃを太鼓にみたくてたたいたりしている子どもとそれぞれです。保育士の膝にのって甘えている子どももいます。保育士は、子ども一人一人の訴えに答え、誉めたり、遊び方を教えたりしています。その間に、一人ずつ声をかけて沐浴室に誘い、オムツ交換します。オムツ交換は、保育士と一対一で向かい合いゆったりとコミュニケーションを取る時間となっています。

観察日には、保育室にたらいを用意し、水遊びをしました。最初は、そっと手を伸ばして水に触れている子どもも保育士の声掛けやおもちゃに誘われて、だんだん積極的になっていき、どの子どもも声を上げながら水の感触を楽しみます。子どもたちは、おもちゃで水をすくい上の方から落としてみたり、パシャパシャと水をたたいたり、すくった水を頭からかぶったりしています。

給食が運ばれてくると子どもたちはキャッキヤと声を上げて喜び、楽しい給食が始まります。保育士は、「もぐもぐ」「おいしい」「上手だね」などとたくさん声をかけ、一人一人の子どもに合わせて大きさを小さくしたり、子どもが自分で食べられるようスプーンに載せたりしています。苦手なナスを食べた子どもは保育士皆にたくさん誉めてもらっていました。

◆ 1歳児クラス

朝の会では電子ピアノに合わせて歌を歌います。保育士の「何を歌いたい？」の声掛けに、「アリさん」「きらきら」「クジラ」などと子どもから声が上がります。子どもたちは曲に合わせて身体をゆすり、「あっちいってチョンチョン」や「きらきら星よ」などの箇所では大きな声で合唱します。

観察日は保育室で運動遊びをしました。マットの斜面を登り、保育士の手を借りてジャンプし、牛乳パックで作られたブロックが並べられた上をそっと渡ります。子どもたちはにこにこ楽しそうに身体を動かします。斜面を立って歩くのが怖くてハイハイで登ったり、ジャンプをためらう子どももいますが、保育士に声をかけてもらい手助けしてもらいながら少しずつ挑戦します。「よいしょ」と自分で自分を励ましている子どももいます。立って渡るのが怖くてお尻でズリズリする子どもがいると、皆が真似をしてズリズリを始めます。保育士も「ズリズリ」と声をかけて応援します。タイミングを見計らって輪を出すと、置かれた輪をジャンプして出たり入ったりしたり、輪を身体に通したり、ハンドルに見立てて自動車になって走り回ったりとそれぞれ好きな遊びをします。輪を転がす子どもや輪をコマのように回そうとする子どももいて、保育士が手本を示します。

保育士は子どもの様子を見てトイレに誘い、子どもの意思を確かめてオマルに座ってみるように誘います。一人が座ると皆が座りたくなり、十数えて交替することになります。子どもたちは、ズポンを脱ぐのも、はくのも自分でやろうと頑張り、できない所や最後の仕上げを保育士に助けてもらいます。

◆ 2歳児クラス

朝の自由時間は子どもたちが全員レゴ遊びをしていますが、保育士は、子どもたちの様子を見ながら何人かを「園内散歩に行こう」と誘って他のクラスに散歩に出かけたり、時間を見計らってお絵描きを提供したりして子どもの興味が持てるものをタイミングよく出しています。

観察日一日目は小麦粉粘土遊びでした。子どもたちは小麦粉が水を入れるにつれてベタベタになっていく様子を集中して見守っています。保育士の手から落ちる様子を見てこわごわと触り、べたべたになった手を

見つめる子どももいます。子どもたちは順番に粉を足したり、水を足したりし、小麦粉粘土になっていく様子を楽しみます。出来た粘土を配って丸めたり、伸ばしたりとしばらく楽しんだ後に、今後は色を足します。子どもたちは自分の好きな色をリクエストします。どの色にするか決められず2色とも入れてもらう子どももいます。観察日2日目は「ピクニックごっこ」をして遊びました。キッチンで子どもたちはそれぞれ自由にお弁当を作り、あらかじめ保育士がレジャーシートや机、電車ゲームマットを準備した所で自由に遊びます。欲しいものが一緒になると保育士が間に入ってお互いの話を聞いています。

トイレは、「トイレ電車」に乗って皆で一列に並んで行きます。自分でズボンを脱いで便器に座り、保育士が並べたズボンを自分で履きます。トイレをすませて手を洗うと給食です。配膳が終わると保育士がメニューを一つ一つ読み上げ、食材を子どもたちが当てます。野菜が苦手な子どもが多いですが、少し減らしてもらい、保育士に励まされたり、誉められたりしてもらい、皆食べ終わることが出来ました。

◆幼児クラス（うみ組、そら組、たいよう組）

観察日は3、4、5歳児合同でした。朝の自由時間はキッチンでままごとを楽しむ子ども、プラスチックコップや綿などでかき氷を作ったりトイレのロールを利用してライフルを作ったりしている子ども、マットの上でお人形遊びをしている子ども、机に座って絵を描いている子どもとそれぞれが楽しく過ごしています。自分の作品を持ってままごとに参加する子どももいて遊びがどんどん広がっていきます。保育士が「3の数字になったら片付けます」と伝えると子どもたちは時間を意識して遊びます。3になると子どもたちが自主的に一斉に片付けを始めます。5歳児が3歳児の片づけを手伝う姿も見られます。作品作りやお絵かきが途中の子どもたちは、保育士に「夕方にやろうね」と言われるとためらうことなく「続きのかご」に入れていきます。

朝の会は、それぞれのクラスの当番が前に出て司会をします。「ゆりかごの歌」、「手のひらを太陽に」、「虹」、「負けないで」などの歌を歌詞も見ないで大きな声で歌っていきます。身体をゆすりながら大きな口を空け、表情豊かに歌っていて、楽しそうです。出欠は、うみ組、そら組は返事と挨拶ですが、たいよう組だけはそれに加えて「今、やりたいこと」を言います。子どもたちは皆恥ずかしそうですが、一人一人自分の言葉で表現しています。

観察日はリトミックでした。バランス、スキップ、アヒル、ウサギ、トンボ、カニ、クモなどをそら組、うみ組、たいよう組の順で保育士のピアノに合わせて楽しめます。保育士は子どもたちが出来たことを一緒に喜びます。出来ない時は、出来ているところを誉めた上でやり方のコツを教え「こうすればもっと恰好よくなるよ」と励まします。子どもの様子を見ながら、難易度やピアノの速度を変えたり、曲の長さを調整したりし、子どもたちが達成感を味わい、それぞれの発達段階に合わせた活動ができるように工夫しています。最後のブリッジは4・5歳児だけの予定でしたが、3歳児からやってみたいと言う声があがり挑戦しました。

給食は、3、4、5歳児と一緒にテーブルを囲みます。給食の準備が整うまで絵本を読みます。一人でじっくりと読む子ども、友達と一緒に声に出して読む子ども、保育士に読んでもらう子どもとそれぞれです。3、4歳児に読み聞かせをしている5歳児もいます。配膳係が給食を配り終わると保育士がメニューの材料は何かとクイズを出します。なかなか当たらず苦戦しましたがすべて言えるとみんなで「いただきます」です。保育士や栄養士も一緒にテーブルを囲み、楽しく皆でおしゃべりをしながら食べます。苦手な物は最初に申告すれば、減らしてもらうことが出来ます。最初に減らしてもらった子どもたちも、楽しく食べるうちに食が進み、減らしたおかずをおかわりしていました。

◆まとめ

保育士は子どもの思いに寄り添い、小さな発見や出来たことを一緒に喜び、出来ないところをさりげなく手助けしています。このような保育士の働きかけのもと、どのクラスでも子どもたちが活動を生き生きと楽しんでいる様子を見る事が出来ました。

事業者コメント

平成 17 年に開園。園としては 2 回目の第三者評価受審となりました。

今回は初めて受審を経験する保育士がほとんどでしたが、全職員が自己評価を実施できたことで一人一人が保育園での日々の保育について振り返りを行うことができ、一層質の高い保育を行っていこうという意識が高まりました。また自己評価項目については、グループ討論をはじめ職員間相互での保育の確認をしていくことで全職員が共通した認識のもとで保育を実践していこうというチームワークづくりの良い機会となりました。

受審にあたり会議を重ねる中、全職員が日々の保育の中でも丁寧に取り組み、改善点があれば、すぐに考え実行し園全体を見直す事ができたと思います。その実行力に改めて力を感じました。常により良くしていこうと意欲のある職員に囲まれている今、笑顔を大切に「陽だまりのような温かい保育園」づくりを目指し、子どもたちと共に輝いていけるよう努力して参りたいと思います。

保護者の皆さまには、いつも変わらず温かいまなざしで子どもたちの成長を見守って頂き、そして保育運営に対するご理解とご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。またお忙しい中、アンケートにご協力頂きましてありがとうございます。アンケート結果につきましては全職員で今後の保育園づくりの参考にさせていただきます。

保育園周辺地域の方々には、日頃より子どもたちを優しく見守って頂いていることを実感しております。地域の皆さまと関わりを持つことの必要性を感じると共に、地域の子育て中の皆さまにも安心して子育てをして頂けるよう積極的に支援していく役割を保育園が担っていくことを深く感じ、これからの課題として取り組んでいきたいと考えております。今後も変わりなくご支援頂けますようお願い致します。

最後になりましたが、評価機関である「特定非営利活動法人市民セクターよこはま」の調査員の皆さまには、細やかに深く保育をみて評価して頂きましたことに心より感謝申し上げます。今後も保護者の方々、地域の方々に信頼して頂けますようにより良い保育園運営に尽力して参りたいと思います。

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

- 市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

- 横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/kenkou/fukushi/>

- かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0011 横浜市中区太田町4-49 NGS横濱馬車道802号室

TEL : 045-222-6501 FAX : 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>
